

システム要件

本製品を正常に操作する為にはお使いの PC が下記スペックを満たしている必要があります。

Microsoft Windows XP SP1 またはそれ以上

システム	
CPU	2.0 GHz またはそれ以上
RAM	1G またはそれ以上
ディスプレイ	解像度 1024×768 またはそれ以上
ウェブ ブラウザ	Edge,Chrome 推奨

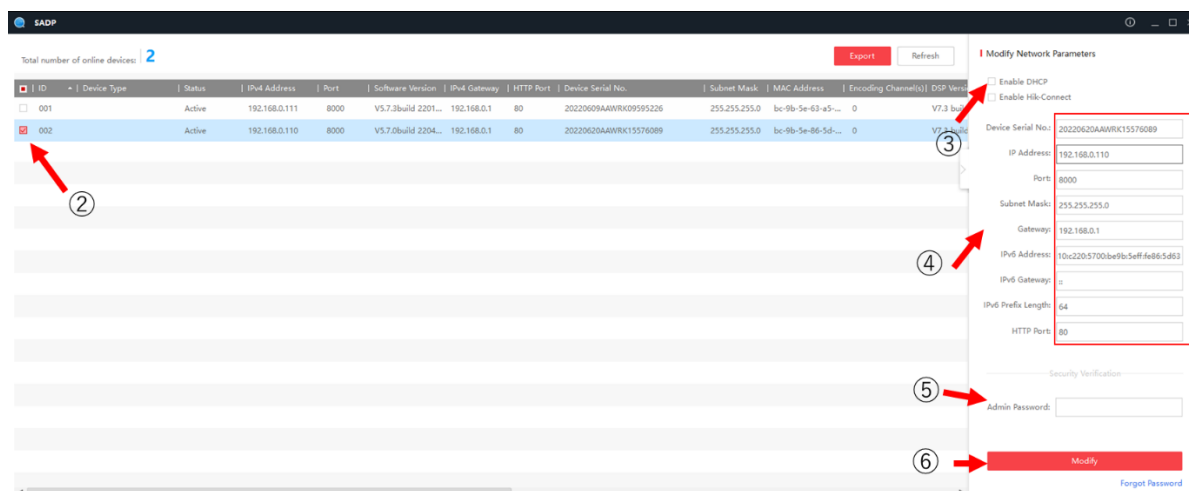
初期設定

本カメラは出荷時は DHCP 設定です。(初期 ID は **admin** 初期パスワードは **user1357**)

固定 IP に変更したい場合、付属のソフトウェア(SADP ツール)を使用して変更します。

手順は以下の通りです。

- ① SADP ツールを PC へインストールし起動
- ② SADP ツールを起動し、ネットワーク設定を変更したいカメラのチェックボックスにチェックを入れる
- ③ Enable DHCP のチェックボックスのチェックを外す
- ④ IP アドレスやゲートウェイなどを入力する。
- ⑤ Admin Password にパスワードを入力する(初期パスワード user1357)
- ⑥ Modify を押す



デバイスへログイン


Web ブラウザを使用してデバイスにログインします。

Web ブラウザの検索窓にデバイスの IP アドレスを入力すると ID、パスワード入力画面が表示されるので入力しログインします。



プラグインのインストール

一部のオペレーションシステムおよび Web ブラウザでは、カメラ機能の表示や操作が制限される場合があります。プラグインをインストールする必要があります。

オペレーティングシステム	ウェブ ブラウザ	操作
Windows	Internet Explorer 8 以降 Google Chrome 57 以前のバージョン Mozilla Firefox 52 以前のバージョン	ポップアッププロンプトに従って、プラグインのインストールを完了します。
	<ul style="list-style-type: none">● Google Chrome 57 以降● Mozilla Firefox 52 以降	 Download Plug-in をクリックして、プラグインインストールします。
Mac OS	Google Chrome 57 以降 Mozilla Firefox 52 以降 Mac Safari 16 以降	プラグインのインストールは不要です。 [環境設定]→[ネットワーク]→[詳細設定]→[ネットワークサービス]と移動して、 WebSocket または Websocket を有効化して標準表示にします。特定の機能で表示や操作が制限されています。たとえば、再生および画像が使用できません。制限された機能の詳細については、実際のデバイスを参照してください。

パスワードの変更

不正アクセスを防ぐため、初期パスワードの変更を推奨しております。

① パスワードの変更

パスワード変更はログイン後、「環境設定」⇒「システム」⇒「ユーザー管理」と移動しユーザー名 admin を選択し「変更」ボタンを押すとパスワード変更ができます。



② パスワードを忘れたときの対策

パスワードを忘れてしまった場合、パスワードリセットをする必要があります。

- ・パスワードリセットには2つの方法があり一つは秘密の質問を設定しリセットする方法
- ・Eメールにてリセットをする方法

があります。

手順

アカウントセキュリティをクリックします。

ポップアップが表示されるので秘密の質問もしくは、パスワードリセットに使用するメールアドレスを入力します。

The screenshot shows a dialog box titled 'アカウントセキュリティ設定'. It has a close button (X) in the top right. The dialog is divided into two sections. The first section is '秘密の質問の設定' and contains three rows, each with a question dropdown, an answer input field, and a label: '秘密の質問1' with '好きな本', '秘密の質問2' with '好きな色', and '秘密の質問3' with '好きな映画'. The second section is 'メールによるパスワードの復旧' with a help icon (?), containing a label 'メールアドレス' and an input field. At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' buttons.

秘密の質問の場合、設定した質問と答えを入力するとパスワードリセットが完了します。

1 2 3

識別子を確認 新しいパスワードを設定 完了

認証モード 秘密の質問の認証

秘密の質問1 父の名前

応答

秘密の質問2 母の名前

応答

秘密の質問3 高校の先生の名前

応答

Next クリア

メールによるパスワードリセットの場合、pw_recovery@device-service.com に QR コードを添付して送ると登録したメールアドレスへ 5 分後に認証コードが届きますので、それを入力するとパスワードリセットができます。

1 2 3

識別子を確認 新しいパスワードを設定 完了

認証モード Eメール認証



QRコードのエクスポート

1. 「QRコードのエクスポート」をクリックしてコードをローカルに保存してください。
2. コードを添付してpw_recovery@device-service.com に送ってください。パスワード復旧用のメールアドレスに5分後に認証コードが届きます。
3. 認証コードを下テキストフィールドに入力してください。

認証コード

Next クリア

不正アクセスへの対策

[環境設定]→[システム]→[セキュリティ]→[セキュリティサービス]と移動して、[不法ログインのロック機能を有効にします]にチェックを入れます。[不正なログイン試行]と[ロック持続期間]の設定が可能です。

不正なログイン試行

誤ったパスワードによるログイン試行が設定回数に達すると、デバイスはロックされます。

ロック持続期間

設定期間が経過すると、デバイスはロックを解除します。

The screenshot shows a configuration page for 'Security Services' (セキュリティサービス) within an 'Environment Settings' (環境設定) section. The page has a dark header with tabs for 'Live View' (ライブビュー), 'Refresh' (再生), 'Image' (画像), and 'Environment Settings' (環境設定). A left sidebar contains menu items: 'Local' (ローカル), 'System' (システム), 'System Settings' (システム設定), 'Maintenance' (メンテナンス), 'Security' (セキュリティ), and 'User Management' (ユーザー管理). The main content area has sub-tabs for 'Authentication Method' (認証方式), 'IP Address Filter' (IPアドレスフィルタ), 'Security Services' (セキュリティサービス), and 'Advanced Security' (アドバンスドセキュリティ). Under 'Security Services', there are three options: 'Enable SSH' (sshを有効にする) which is unchecked, 'Enable lock function for illegal login' (不法ログインのロック機能を有効にします) which is checked, and 'Illegal login attempt' (不正なログイン試行) which is set to 7 on a slider. A red 'Save' (保存) button is at the bottom.

ローカルの設定

ライブ映像のパラメーター				
プロトコル	<input type="radio"/> TCP	<input checked="" type="radio"/> UDP	<input type="radio"/> MULTICAST	<input type="radio"/> HTTP
再生性能	<input type="radio"/> 最短遅延	<input checked="" type="radio"/> 均衡	<input type="radio"/> 滑らかさ	<input type="radio"/> カスタマイズ
ルール	<input type="radio"/> 有効	<input checked="" type="radio"/> 無効		
POS情報を表示	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効		
画像フォーマット	<input checked="" type="radio"/> JPEG	<input type="radio"/> BMP		

記録ファイルの設定			
記録ファイルサイズ	<input type="radio"/> 256M	<input checked="" type="radio"/> 512M	<input type="radio"/> 1G
保存先	<input type="text" value="C:\Users\nakamura\Web\RecordF"/>	<input type="button" value="ブラウザ"/>	<input type="button" value="開く"/>
ダウンロードファイルの保存	<input type="text" value="C:\Users\nakamura\Web\Downlog"/>	<input type="button" value="ブラウザ"/>	<input type="button" value="開く"/>

画像とクリップの設定			
スナップショットを保存	<input type="text" value="C:\Users\nakamura\Web\Capture"/>	<input type="button" value="ブラウザ"/>	<input type="button" value="開く"/>
スナップショットを保存	<input type="text" value="C:\Users\nakamura\Web\Playbac"/>	<input type="button" value="ブラウザ"/>	<input type="button" value="開く"/>
クリップの保存	<input type="text" value="C:\Users\nakamura\Web\Playbac"/>	<input type="button" value="ブラウザ"/>	<input type="button" value="開く"/>

プロトコル

TCP,UDP が選択できます。HTTP はサードパーティがデバイスからストリームを取得する必要がある際の設定です。(MULTICAST は本製品は非サポートとなります。)

再生性能

ライブ映像の再生性能を選択できます。

最短遅延：滑らかさよりもリアルタイムを優先した映像となります。

均衡：リアルタイムと滑らかさのどちらもバランスをとった映像となります。

滑らかさ：リアルタイムよりも滑らかさを優先します。

カスタマイズ：フレームレートを手動で設定することが可能です。

ルール

モーション検知や顔検知、侵入検知などの設定を有効とするか無効とするか選択できます。

POS 情報を表示

この機能を有効にすると検出されたターゲットの特徴情報がライブ画像内のターゲット付近に動的に表示されます。

画像フォーマット

保存する際の画像フォーマットを選択できます。

記録ファイルの設定

映像の保存先や1つ辺りのファイルサイズを設定できます。

画像とクリップの設定

スナップショットやクリップの保存先を設定できます。

ビデオとオーディオ

ビデオ

ビデオ	オーディオ	ROI	複数ストリーム情報表示
ストリームタイプ			メインストリーム (ノーマル)
ビデオタイプ			ビデオストリーム
解像度			2688*1520
ビットレートタイプ			可変
ビデオの品質			中
フレームレート			30 fps
最大ビットレート			6144 Kbps
ビデオエンコーディング			H.264
H.264+			オフ
プロフィール			ミディアム
Iフレーム間隔			50
SVC			オフ
平滑化			50 [クリア<->平滑]

ストリームタイプ

設定するストリームを選択できます。(メインストリームかサブストリーム)

ビデオタイプ

マイク付きカメラの場合、映像と音声を選択すると映像と一緒に音声録音が可能です。

解像度

解像度が選択できます。

ビデオ品質、フレームレート、ビットレート

画質やフレームレート、1秒あたりのビットレートを設定できます。

H,264+

H.264 や H.265 よりもより高圧縮な圧縮方式です。使用可能なレコーダーが限られますので接続先のレコーダーが H.264+ 対応かご確認のうえご使用ください。

オーディオ



音声圧縮

音声圧縮方式を選択できます。

音声入力

音声入力を選択できます。

MicIn:カメラ内蔵のマイクから音声を拾います。

LinIn:外付けマイクから音声を拾います。

音声入力  60

音の大きさを変更できます。

環境ノイズフィルター

ON にするとノイズを低減できます。

ROI

ROI 領域を設定できます。設定された範囲の解析に多くのリソースが使用されるようになります。

複数ストリーム情報表示

チェックを入れるとビデオストリームに対象物（人、車両など）の情報が表示されます。

画像

ディスプレイ設定



画像設定

映像の明るさやコントラスト、シャープネスの調整ができます。

OSD 設定



画面に日付、曜日、時間や任意コメントの表示、非表示、位置の設定ができます。

プライバシーマスク

ディスプレイ設定 OSD設定 **プライバシーマスク** 画像パラメータ切替

プライバシーマスクを有効にする



エリアを描く

すべてクリアー

 保存

特定の場所がライブビューや録画されないようにすることができます。
エリアを描くをクリックし任意の範囲を選択、保存を押すとその部分の映像が黒塗り状態となります。

画像パラメータ切替

ディスプレイ設定 OSD設定 プライバシーマスク 画像パラメータ切替

有効

通常 ▼ × 削除 全てを削除する

月	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
1月													
2月													
3月													
4月													
5月													
6月													
7月													
8月													
9月													
10月													
11月													
12月													

- 通常
- バックライト
- フロントライト
- 低照度
- カスタマイズ1
- カスタマイズ2

保存

スケジュールに応じて、映像設定を切り替える事ができます。

バックライト：逆光で見えにくい時に補正し視認性を上げます。

フロントライト：前面に強烈な光があるときに補正し視認性を上げます。

低照度：暗い映像を補正し視認性を上げます。

カスタマイズ1；本製品では非サポートとなります。

カスタマイズ2；本製品では非サポートとなります。

イベント

動体検知

動体検知 タンパリングアラーム / 或者カメラ妨害アラーム アラーム入力

動体検知有効

モーションの動的解析を有効

エリア設定 アラームスケジュール リンケージメソッド

コンフィグレーション ノーマル・モード

エリアを描く クリア すべてクリア

検知目標 人物 車両

感度 60

保存

移動体を検出する領域の設定ができます。動体検知機能と他の機能を組み合わせて色々な連動動作をさせることができます。

通常の動体検知を使用する場合

- 1) 動体検知有効にチェックを入れる
- 2) エリアを描くを押して動体検知を検知するエリアを設定します。
- 3) 保存を押します。

オプション：動体検知した物体を緑色でハイライトさせる事が可能です。(Web 閲覧時のみ)

- 1) モーションの動的解析を有効にチェックを入れます。
- 2) 「ローカル」→[ルール](#)を有効にします。

コンフィグレーション

ノーマルモード

通常の動体検知モードです。検出領域内で動きがあったら動体検知を行います。

エキスパートモード

日中、夜間で異なる検出領域を設定しカメラが夜間モードに切り替わったら検知領域も変えるといった設定が可能です。

スケジュール機能を使って時間で切り替える設定も可能です。

検知目標

検知目標を人または車両のどちらかに決める事ができます。どちらのチェックも入れてない場合、検出領域内で動いた全てに反応します。

感度

検知感度を 0 から 100 まで設定できます。感度が高いほど小さな動きに反応します。0 を選択すると動体検知は行われません。

タンパリングアラーム／域者カメラ妨害アラーム

カメラのレンズが隠されるなどいたずら行為があった時に検知し、メール発報または監視センターに通知する事ができます。



エリアを描く

有効にチェックボックスをいれエリアを描くを押して検知領域を設定し保存すれば設定完了です。

異常検知設定

動体検知 タンパリングアラーム / 或者カメラ妨害アラーム **異常検知設定**

異常検知タイプ HDDフル ▼

<input type="checkbox"/> ノーマルリンケージ
<input type="checkbox"/> Eメールの送付
<input checked="" type="checkbox"/> 監視センターに通知する

HDD フル：ストレージに空きがないとき

HDD エラー：ストレージにエラー発生した時

不正ログイン：不正ログイン（ユーザー名、パスワードを複数回間違えた時）
にアラームを発報します。

Smart 事件